

電磁波吸収テープ NRF-005T の導入(3)(HP 収載)

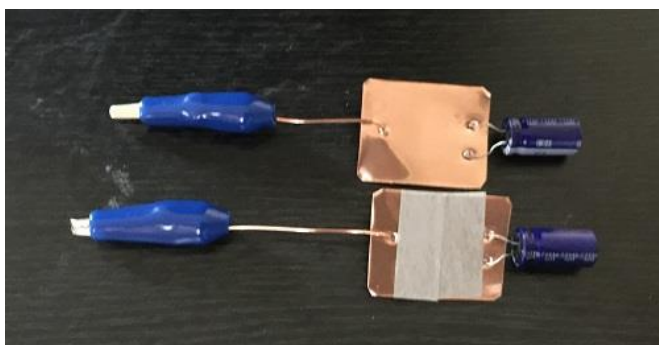
－仮想アースへの適用(3)－

1. 始めに

前報(1)と前報(2)では、仮想アースへの旭化成の Pulshut を応用したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T の仮想アースへの適用を検討しました。この結果をさらに検証するために、NRF-005T を貼りつけた仮想アースを追加します。

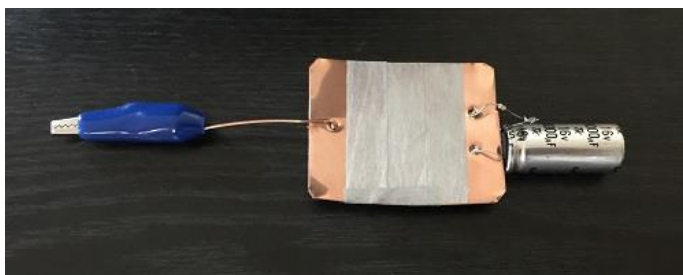
2. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴方法

前報(1)で紹介した入手したオヤイデの電磁波吸収テープ NRF-005T を適用するために銅板にコンデンサーを取り付けて、新たに仮想アースを 2 個製作し、一方は NRF-005T 貼り付けなし、一方は、表裏両面の貼り付ありとします。コンデンサーは、ともに仮想アースの検討(1)で使用した 2200 μ F の電解コンデンサーです。このものを仮想アース 10 号機とします。



試聴は EMT981 による CD とし、試聴音源は、前報(1)で使用した CD です。

これとは別に、仮想アースの検討(6)で使用した電解コンデンサー10000 μ F と抵抗をシリーズに繋いだものがありますので、これも銅板にコンデンサー取り付け、さらに表面に NRF-005T 貼り付けた仮想アースとします。このものを仮想アース 11 号機とします。



再生は PC による BPODCH の再生とします。試聴音源は、仮想アースの検討(10)で試

聴した音源です。

3. 電磁波吸収テープ NRF-005T の試聴結果

CDの再生は、2200 μ Fの電解コンデンサー使用仮想アースのNRF-005Tの貼り付けなし、NRF-005Tを貼り付けありを交互に聴いて比較していきます。

ベートーヴェンのピアノ三重奏曲は、NRF-005Tの貼り付けなしの場合でも、仮想アースなしに比べて音がしまっていて細部の表現が分かりやすくなりますが、NRF-005Tを貼り付けありですと、さらに音の精度が上がり、チェロの音の切れ込みやピアノの打鍵が明瞭になります。

ワグナーの管弦楽集は、個々の音像が明瞭になり、全体として迫力が増してきます。

森麻季は、NRF-005Tの貼り付けなしよりNRF-005Tを貼り付けありで、ソプラノの声の張りがでますし、ピアノの打鍵の明瞭さが向上します。

PCによるBPODCHの再生は、電解コンデンサー10000 μ Fと抵抗使用仮想アースのNRF-005Tの貼り付けのものとこれを外した場合で聴いていきます。

マーラーの3番では、オーケストラの音の分離が向上し、特に大ホールに響きわたる低弦やグランカッサの音が明瞭になります。

リストのピアノ協奏曲1番では、オーケストラの音の分離が向上し、ピアノの打鍵が明瞭になり、特に左手の低音の沈み込みがはっきりしてきます。

以上から、2200 μ F電解コンデンサー使用仮想アースでNRF-005Tの貼り付けなしのものにもNRF-005Tを貼りつけます。そしてこれら2個の仮想アース10号機は、それぞれ、スイッチングハブのLANポートの仮想アース9号機とDMR-UBZ1のRCA端子の仮想アース8号機に追加します。

10000 μ F電解コンデンサーと抵抗使用仮想アース11号機は、そのままPCのUSBポートの仮想アースとして使用します。

以上の追加処置の後、PC経由で最近グラモフォンレーベルが開始した配信サイト「STAGE+」を視聴して見ましたが、とても配信音源と思えないような音質を享受することができました。さらにDMR-UBZ1経由でBPODCHの再生を行いました。追加した仮想アースの効果を確認できました。

4. まとめ

新たに製作した比較用の2200 μ F電解コンデンサー使用仮想アースでNRF-005Tの貼り付け効果を確認できました。また、10000 μ F電解コンデンサーと抵抗使用仮想アースへのNRF-005Tの貼り付け効果も確認できました。

以上